

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程入学試験＜一般＞（秋期）出題の意図

試験 科目	専門科目 B (行動学系)	講座		研究 分野	
----------	------------------	----	--	----------	--

(2 枚中の 1 枚目)

1. (基礎心理学)

実験心理学の各分野で必要な知識とそれを適切に記述する能力を有するかを確認する。

2. (基礎心理学)

研究分野において必要な心理学の知識を尋ねる問題である。

3. (応用認知心理学)

認知課題を持続的に遂行するためには持続的注意が必要とされ、また課題のパフォーマンスは比較的短い時間で大幅に低下することが知られている（ビジランス低下）。本問ではこの現象について知っていること、その現象がどのように説明されているか、またどのような方法で研究されているかの知識を問う。

4. (応用認知心理学)

応用認知心理学の研究の中でしばしば用いられる基本的な専門用語・概念について理解しているかを問う。

5. (社会心理学)

(a) 社会心理学の専門論文における実験背景や仮説部分の一文を正確に読み取り、日本語で自然かつ論理的に表現できるかを測る。

(b) 提示された仮説に基づき、受験者自身が妥当な実験計画を構想できるかを評価する。研究のデザイン力と論理的思考力を総合的に測る設問である。

6. (社会心理学)

大学院では専門用語を他者に明確に伝えるスキルが不可欠であることから、基本的なキーワードについて、正確な理解をもとに簡潔に説明できる力を問うた。選定されたキーワードは、社会的認知や実験法など社会心理学の重要な概念を広くカバーしている。

7. (臨床死生学・老年行動学)

臨床死生学・老年行動学で必要とされる基本的な知識を有するか、先行研究を理解し、論理的に説明する基本的な能力を備えているか、社会課題を分析し、解決策を考案する能力を備えているかを問う問題を出題した。

8. (臨床死生学・老年行動学)

臨床死生学・老年行動学で必要とされる基礎的な知識を有しているかを問う問題を出題した。

2026（令和8）年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程入学試験＜一般＞（秋期）出題の意図

試験 科目	専門科目 B (行動学系)	講座		研究 分野	
----------	------------------	----	--	----------	--

(2 枚中の 2 枚目)

9. (安全行動学)

レジリエンス・エンジニアリングの視点から安全マネジメントを適切に説明できているか、また "Safety I" および "Safety II" の概念を正しく理解し、説明に取り入れているかを問う。

10. (安全行動学)

安全行動学の研究の中でしばしば用いられる基本的な専門用語・概念について理解しているかを問う。

11. (発達認知科学)

乳幼児期の発達研究を、発達心理学／発達認知科学の中だけでなく、隣接する異分野を含めた広い学術的文脈の中に位置づけて議論できるかどうかを問う。特に発達と人工知能とを架橋する研究知見については、英文・和文を問わず論文や書籍などで広く議論されている。こうした最新の傾向を踏まえて自身の議論を展開できるかどうかを問う。

12. (発達認知科学)

(a), (b), (c), (d), (e) のいずれも、発達心理学／発達認知科学に関する基礎知識を有しており、具体例を挙げながら適切に説明できるかどうかを問う。

13. (行動生理学)

古典的づけや味覚嫌悪学習における基本的知識を有しているのか、そして、先行研究での実験結果などに基づいて、味覚嫌悪学習の脳機構について考察することができるかどうかを問う問題である。

14. (行動生理学)

行動神経科学・行動生理学における基本的な物質名・脳構造等への基礎的知識を問う問題である。

15. (認知行動工学)

本問題は、予防的健康行動の行動変容、医療行動経済学に関する理論的理解ならびにリサーチデザインを行うスキルを問う問題を意図して出題している。

16. (認知行動工学)

本問題は、認知変容・行動変容に関連する基本的な概念を理解しているかについて問うことを意図している。